

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！
JR東海労に
結集しよう！

J R
東海労

静岡

JR東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町68
NTT 054-284-3608
発行責任者 山本繁明
2010年10月10日 No. 2

乗務員詰所の「防犯カメラ」は 何を「監視」しているのか！？

御殿場線〇〇駅乗務員詰所においては、以前より関係乗務員から「詰所内で休憩している乗務員が監視カメラで撮られていて問題だ」との意見が出されてきました。私たちJR東海労静岡地本はこのカメラについて会社に説明を求め、撤去を訴えてきました。会社は「詰所内の別室に関する防犯設備である」「セキュリティの必要がある」とし、私たちは「別室出入口に絞ってカメラを固定すること」を求め、会社はこれに応じました。

しかし、カメラは外部からの侵入者でなく社員を監視しているものではないのか？との意見にもとづき、再度私たちは看過できない問題として、申2号をもってカメラの撤去を申し入れました。会社は「現在、詰所全体は撮影していない。別室への出入りを撮っているだけである」と説明し、監視カメラではなく「防犯カメラ」であると強調しています。申の提出を伝えた地本情報に対しても、監視カメラという私たちの組合主張に、「申の文言がかわるのはおかしい」「防犯カメラだ」などと介入してきているのです。しかし、いくら「防犯カメラ」だと言い張ったところで、何を撮ろうとしているのかが問題なのです。

詰所出入口のセキュリティに問題がなければ、カメラが撮ろうとしているのは「別室に不当に出入りする恐れのある、詰め所内の社員・乗務員」に他なりません。カメラは、会社の社員を信用しない猜疑心の象徴として存在し、社員に無言の威圧と不快感を与えているのです。社員が犯行に及ばないか監視されている、こんな詰所で休憩・休養ができますか？

※ 私たちは別室出入口のテンキー化と監視カメラの撤去を求めます！！※